

東急株式会社に対するシンジケーション方式での 「サステナビリティ・リンク・ローン」の契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、東急株式会社（取締役社長：堀江 正博、以下「東急」）との間で、本日、シンジケーション方式による「サステナビリティ・リンク・ローン」（以下「本ローン」）のアレンジャーに就任し、契約を締結しました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手のESG戦略と連携したサステナビリティ目標を設定し、金利などの借入条件をサステナビリティ目標達成に連動させることで、借り手に目標達成に向けたインセンティブを与え、環境・社会面において持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

東急グループは、「美しい時代へ」というグループスローガンのもと、「脱炭素・循環型社会」をサステナブル重要テーマの一つとして掲げ、2022年3月に環境ビジョン2030を策定、2022年11月に更新し、環境経営を推進しています。

本ローンのサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPT」）は「2031年3月期（2030年度）における東急及び東急連結子会社のCO2排出量（総量ベース、Scope1及びScope2）を2020年3月期（2019年度）比46.2%削減すること」としています。

なお、東急は「サステナブルファイナンス・フレームワーク」を策定し、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所（JCR）から、ローン・マーケット・アソシエーション等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則（SLLP）2023、ならびに環境省が定めたグリーンローンおよびサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（2022年版）への準拠性と設定した目標の合理性について第三者意見（※）を取得しています。

〈みずほ〉は、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。環境・社会課題解決に向けた資金の流れを創出するサステナブルファイナンスや金融を超える知見・機能を活用したソリューション提供を通じ、SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）に向けて、お客さまとともに挑戦していきます。

<案件の概要>

融 資 先：東急株式会社
契 約 金 額：100 億円
ア レ ン ジ ャ ー：株式会社みずほ銀行
貸 付 人：国内金融機関 11 社
契 約 締 結 日：2024 年 8 月 28 日

（※）株式会社日本格付研究所（JCR）による評価レポートをご参照下さい。

(https://ir.tokyu.co.jp/ja/ir/stock_bond/susb/main/00/teaserItems1/0113/linkList/00/link/JCR%20News%20Release.pdf)

以 上

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO